

令和5年度
 関東地方整備局 入札監視委員会第一部会第2回定例会議 審議概要

開催日及び場所		令和5年12月25日(月) 関東地方整備局 【Web会議等】	
委員		大野 由香子 (慶應義塾大学 教授) 奥井 義昭 (埼玉大学大学院 教授) 奥原 玲子 (弁護士) 木村 和也 (慶應義塾大学法科大学院 教授 兼 弁護士) 古賀 紀江 (関東学院大学 教授) 伊永 大輔 (東北大学大学院 教授)	
審議対象期間		令和5年4月1日 ~ 令和5年9月30日	
審議案件		総件数 10件	(備考) ○工事・建設コンサルタント業務等の発注件数、入札結果の状況、指名停止等の運用状況及び談合情報の報告を行った。
工事	一般競争(政府調達)	1件	
	一般競争(政府調達以外)	2件	
	工事希望型競争	0件	
	指名競争	2件	
	随意契約	1件	
建設コンサルタント業務等		3件	
物品・役務等		1件	
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答		意見・質問	説明・回答
		別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容		特になし	

○問い合わせ先

さいたま市中央区新都心2番地1

さいたま新都心合同庁舎2号館

電話 048-601-3151 (代)

国土交通省関東地方整備局 入札監視委員会事務局

入札契約監査官 松村 敏男 (内線2220)

契約管理官 武内 康彦 (内線2222)

技術開発調整官 高森 治 (内線3113)

主任監査官 瀧ヶ崎 由一 (内線2114)

意見・質問	説明・回答
<p>〔報告事項〕</p> <p>1. 発注一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>2. 入札結果の事後的・統計的分析について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一者応札等の減少傾向について、どのような取り組みが功を奏したと分析されているか。 <p>3. 指名停止等の運用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>4. 入札談合に関する情報等への対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>〔抽出案件の説明及び審議〕</p> <p>1. 一般競争入札方式（政府調達）</p> <p>【R5国道357号荒川河口橋補修工事】橋梁補修</p> <p>質問というよりコメントになるが、入札した3者の入札価格と評価の点数が総合されて落札となっている状況と思うが、1位と2位の差を見ると技術点で7点差があるので、入札価格が3500万円高くても落札できたということかと思う。結果に問題があるという趣旨ではないが、7点差という施工技術上の質の向上が、3500万円という金額の差に見合っているのかということ、今後似たような工事をたくさん発注されるということなので、類型別に検証してもらい、点数の調整をしてもらおうと良いのかなと感じた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一者応札に限らず不調不落という所が非常に大きな問題となっており、不調不落対策を行うことが一者応札の減少にも繋がってきているのではないかと考えている。具体的な対応として、競争資格要件の緩和、見積活用方式の導入、余裕工期を設定する等、競争参加しやすいような取り組みが一者応札の減少に繋がっていったのではないかと分析している。

意見・質問	説明・回答
<p>2. 一般競争入札方式（政府調達以外）</p> <p>【R 5 釜無川出張所砂防整備工事】維持修繕</p> <p>・ 1 者入札及び高落札率の理由に対する説明は何だった。多くの業者が参加できるようにしたとのことだが、今後こういった工事があったときに、更に多くの業者が参加できるように、どのような改善を考えているか。</p> <p>3. 一般競争入札方式（政府調達以外）</p> <p>【R 4 久慈川左岸小貫地先河道掘削工事】一般土木</p> <p>・ 一括審査において無効となるのはどういうことか。</p> <p>・ それは制度上によるものか。</p> <p>・ 他の質問を伺いながら、自分で抽出しながら思っていた疑問が解けたり、分かったりした。総合評価で業者が決まったり、低落札率になっているのが管理費を下げていったからではないかとのことだが、それが本当にうまくいって、工事の質だとかできあがった物の品質に対して担保しているのかどうかということ、最終的にやられているとは思いますが、明確にわかるような何かあと一つが必要なのではないか。いかにクリアにお金が使われていてもその品質が担保されなければ意味が無い。既にあれば教えてもらいたいし、無いのであれば考えていくべき事なのかなと思う。</p> <p>・ その評価項目というものをもう一度洗い直すとか、あるいはそれぞれの工事にとって大切なものをピックアップしていくべきかなと思う。</p> <p>【審議案件総括】</p> <p>・ 委員の方から貴重なご意見、ご提案等があった。これからも建設的な意見をもらい、発注者におかれては参考にさせていただきたい。</p>	<p>・ 地域外からの労働者確保が必要な場合、実際に要した費用を反映する取り組みも可能であると聞いており、そういった取り組みを検討していくことが考えられる。</p> <p>・ 一括審査方式による場合、一方の工事を落札した入札参加者はもう一方の工事を受注することが出来ない。</p> <p>・ 制度上によるものである。</p> <p>・ 総合評価方式の中で、工事成績という加点要素のところがある。委員の言われている品質の確保、実際に現場にいいものが出来ているのかいないのかという観点だが、工事が終わった段階で工事に成績を付け、その成績の評点も含めて総合的に評価をしているので、悪い点数であればなかなか次のところに手を出しづらいという形で、点数で評価しているというのが現状である。</p>

意見・質問	説明・回答
<p>4. 指名競争入札方式</p> <p>【R 5 東関道長野江地区改良工事】一般土木</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数が多い理由にフレックス期間という話があったが、どの程度の期間だったのか。 ・有用な取り組みのため、可能な限りフレックス期間を設けるべきと考えるが、基本的には設定されているという理解で良いのか。 ・フレームワークモデル工事というのは入札者が多いからある程度絞りたいということでやられているのか。 ・逆に応札してくれる者が少ないから、やられているということか。 ・過去にやられていた指名入札とどこが違うのか。指名入札の時に談合の問題があったと思うが、そのあたりはどのように配慮されているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本工事の場合は1ヶ月である。 ・可能な限りフレックス期間を設けているが、工程上の理由で設けられない場合もある。 ・フレームワークモデル工事は、技術者の確保や労働力、資機材の調達が困難であるなどの工事内容や地域特性を踏まえて、競争参加者が少数と見込まれて、かつ技術的難易度が比較的低い工事について行っている。当事務所の発注件数が多い（既契約工事が多い）ことから、今回は機械・労務の手配困難が懸念されたため採用した。 ・そのとおり ・参加表明書にもとづき技術点を付け、総合評価方式により落札者を決定しているため、単純な指名競争入札とは異なる。

意見・質問	説明・回答
<p>5. 指名競争入札方式</p> <p>【R 4 有明本部棟他改修工事】建築</p> <p>・大変丁寧に説明してもらい低入札調査で何を審査したのかということがよく分かった。要望になるが、手続きや書類の準備がかなり煩雑で、準備する事業者側も、審査する役所側もどちらも非常に大変だなと思うので、もう既に取り組んでいるかもしれないが、簡略化の方向で更なる検討をしていただければと思う。</p> <p>・低入札になった理由は、手持ちの機械があるためということであるが、予定価格を算出する際の考え方を教えてほしい。</p> <p>6. 随意契約方式</p> <p>【R 5 国道 4 号春日部出張所管内冠水等応急対策工事その 1】維持修繕</p> <p>・今回の随意契約について前田道路株式会社に決定した経緯を教えてください。</p> <p>・他の事務所でも同種の工事で、同じカテゴリーの入札が多かった。そもそも積算基準で考えている金額が高すぎる、ちょうど良くないのではないかとと思われる。分かる範囲でその点について伺いたい。このことは、今後、考えていくべき点と考えている。</p> <p>・落札率60%は驚愕したところ。このような機会に今後について考えていくべき視点である。</p> <p>【審議案件総括】</p> <p>・委員の方から活発なご質問、貴重なご意見、ご提案等があった。これからも建設的な意見をもらい、発注者におかれては参考にさせていただきたい。</p>	<p>・今回は総合評価関係と契約関係法関係の低入札調査の両方を実施している。法律で決まっている部分でもあるので、書類の簡素化はなかなか取り組めていない。品質確保や実際に施工ができるかどうかの確認のために必要な書類になっていると認識している。引き続き簡素化の検討は進めていきたい。</p> <p>・予定価格は、手持ちで機械を持っていないのが前提となっており、持っている場合は、その経費はかからないことから入札金額を下げるができる。今回の落札した業者は、業者があまり持っていない機械を持っていたためと考えられる。このような機械は、基本はレンタルを想定している。</p> <p>・大宮国道事務所において災害協定に基づき、管理延長約 2 6 6 kmを 3 6 社で区間を設定し、対応しているところである。災害対応において人員・資機材の確保、工種等の様々な要素から対応を行う会社の検討が必要である。今回対応において災害協定を締結している会社から複数社連絡をし、人員が確保できている、現地へ一番早く行ける会社が前田道路だったので随意契約を締結した。</p> <p>・工事では多様な工事条件で目的物を作るため積算条件があるが、今回工事のように比較的簡単なもので仮設物等ないなど工事の特性によって積算基準にはなじまない物もあるかと思われる。</p>

意見・質問	説明・回答
<p>7. 一般競争入札方式（総合評価）</p> <p>【R5・R6・R7 荒川第一調節池管理支援業務】土木コンサル</p> <p>・（この事案の）選定理由として同じような落札のされ方をした業務が（同事務所で）他にもあったのだが、何か例えばそういうことができる会社が、それぞれの強いところが1つずつしかないのかなとか、いろいろ理由を推測している。繰り返しそういった（1者入札、高落札率）事案が見られた点についても説明いただきたい。</p>	<p>・管内で同様（1者入札、高落札率）の業務があり、これは管内の河川巡視を支援する業務として、河川区域や河川保全区域を巡視する業務であり、こちらも1者入札になっている。こちらの業務についても業務内容が専門性のある業務であり、業務量に見合った技術者の人員確保が困難なため参加が1者になったと考えている。今回ご説明した調節池の管理支援業務の方については、前回の発注から要件の緩和を行っており、企業の業務実績の緩和や、配置予定管理技術者、配置予定担当技術者の要件を緩和しているが、そういった取り組みを行ったにもかかわらず技術者の配置が難しいということで、1者入札という状況になっている。</p>
<p>8. 簡易公募型競争入札方式（総合評価）</p> <p>【R4 下館管内官民境界測量調査等業務】測量</p> <p>・複数の案件に関わるが、どちらも物が発生するものではなく役務が中心のものだと思う。費用削減出来た理由としていくつか挙げてもらっているが、どちらも人件費が中心とを感じるが、それが理由で一方は高落札率、もう一方は低落札率となる案件が生じている。これは土木コンサル、測量で単価の設定が違うからか、削減の余地がコンサルの方が少なく測量の方が多ということなのか。</p> <p>・人件費が多くを占めているもので、片や高入札、片や低入札となっており、なぜこのような結果になっているのか、その原因がどこにあるのかというところが問題意識だった。</p> <p>・人件費を削ることが難しいからとかそういう理由とは違うと理解した。</p>	<p>・一つ目の業務はコンサルタント業務ではなく発注者支援業務で、行政の補助をする業務になっている。二つ目の業務は測量業務で機器等を使用し、現地で作業を行う業務のため経費のかかり方が異なる。</p> <p>・諸経費の考え方も支援業務と測量業務では違っており、一概にどこで削減できたかは受注者の考えもあり、説明が難しいが、それぞれが業務を行ううえで必要な経費を計上した中でこのような落札率となったと思う。</p> <p>・もちろん人件費だけでなくいろいろなところで経費削減できる部分があったと思う。</p>
<p>9. 簡易公募型プロポーザル方式</p> <p>【R4 多摩川水文観測高度化設計検討業務】土木コンサル</p> <p>・業務の手続きにおいて、二段階で審査を実施している理由は何か。たくさんの参加者が見込まれ、全てに対してヒアリングをすることは大変であるためか。</p>	<p>・所内の建設コンサルタント選定委員会において、まずは、参加表明の段階で入札参加資格を確認し技術提案書提出者を選定した上で、次に、資格がある者に関しては技術提案書を出してもらい、技術提案書を評価することになっている。技術提案書を作成した後に資格が無く参加できないという事態を避けるために二段階の審査となっていると認識している。</p>

意見・質問	説明・回答
<p>【審議案件総括】</p> <p>・委員の方から問題意識に基づいたご質問等があった。これからも建設的な意見をもらい、発注者におかれては参考にしていただきたい。</p> <p>10. 一般競争入札方式 【R5 荒川下流印刷製本等単価契約】役務の提供等</p> <p>・説明を聞きなるほどそういうことかと理解したが、問題がないといえる落札額ではない。これまで遺漏のない手続きが行われていたものだとしても、それを疑うということが重要である。決められていることや何年もおこなっているものに対して、疑義を呈する責務があるのではないかと考え、今回案件として取り上げさせていただいた。</p> <p>【全体を通して】</p> <p>・全体を通してやはり低入札ということと、そのときの質の担保ということの問題意識があったと思う。ここで取り上げられているものは寿命の長い社会資本なので、低入札調査の項目も多く無ければならないということは理解したが、更に省力化と質の担保をしていくというのが目指す方向性かなという印象を受けた。</p> <p>・特段の意見具申はなし。</p>	

【工事】

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額	落札率	備考
							(単位:千円)	(単位:%)	
一般競争(WTO)	R 5 国道357号荒川河口橋補修工事	橋梁補修	3	3	令和5年7月24日	鹿島道路(株)	1,193,500	95.82%	
一般競争	R 5 釜無川出張所砂防整備工事	維持修繕	1	1	令和5年9月11日	湯澤工業(株)	17,160	99.49%	
一般競争	R 4 久慈川左岸小貫地先河道掘削工事	一般土木	24	20	令和5年5月22日	(株)井坂組	123,794	90.18%	

入札方式	工事名	工事種別	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額	落札率	備考
							(単位:千円)	(単位:%)	
指名競争	R 5 東関東道長野江地区改良工事	一般土木	12	11	令和5年7月19日	株木建設(株)	408,100	92.07%	
指名競争	R 4 有明本部棟他改修工事	建築	2	1	令和5年8月10日	(株)翔榮建設	25,960	59.85%	

入札方式	工事名	工事種別	契約締結日	契約の相手方	契約金額	落札率	備考
					(単位:千円)	(単位:%)	
随意契約	R 5 国道4号春日部国道出張所管内冠水等応急対策工事その1	維持修繕	令和5年9月7日	前田道路(株)	1,760	66.39%	

【コンサル】

入札方式	業務名	業種区分	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額	落札率	備考
							(単位:千円)	(単位:%)	
一般競争(総合評価)	R 5・R 6・R 7 荒川第一調節池管理支援業務	土木コンサル	1	1	令和5年4月3日	関東建設マネジメント(株)	222,860	99.00%	

入札方式	業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額	落札率	備考
							(単位:千円)	(単位:%)	
簡易公募型競争(総合評価)	R 4 下館管内官民境界測量調査等業務	測量	10	10	令和5年5月10日	(株)新星コンサルタント	12,914	79.70%	

入札方式	業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額	落札率	備考
							(単位:千円)	(単位:%)	
簡易公募型プロポーザル	R 4 多摩川水文観測高度化設計検討業務	土木コンサル	1	1	令和5年4月19日	(株)東京建設コンサルタント	19,943	92.26%	

【物品・役務等】

入札方式	業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額	落札率	備考
							(単位:千円)	(単位:%)	
一般競争	R 5 荒川下流印刷製本等単価契約	役務の提供等	4	4	令和5年4月19日	東陽青写真工業(株)	615	16.69%	